

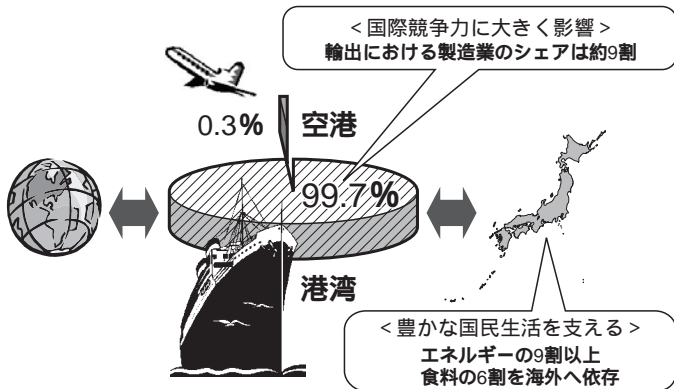
# 港の果たす役割

## 1 我が国の国際競争力強化及び国民生活の質の向上

エネルギーの9割以上及び食料の6割を海外に依存する資源小国である我が国においては、製造業をはじめとする産業の輸出や食料資源の輸入などの貿易が、経済活動及び国民生活を支えている。

このため、輸出入貨物量のほぼ全て（99.7%）を扱う港湾を通して、コスト、スピード、安全性及び信頼性の面で国際水準を確保した物流体系を形成し、我が国の国際競争力強化及び国民生活の質の向上を図ることが極めて重要である。

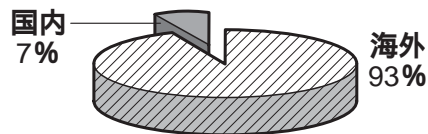
輸出入貨物量の99.7%を取扱う港湾



資料：輸出入貨物の物流動向調査  
(調査期間2006年9月1日～9月7日)(財務省)

エネルギーの93%は海外からの輸入に依存

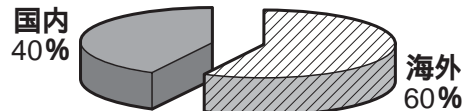
エネルギー自給率



資料：2005年度エネルギーバランス表(資源エネルギー庁)

食料の60%は海外からの輸入に依存

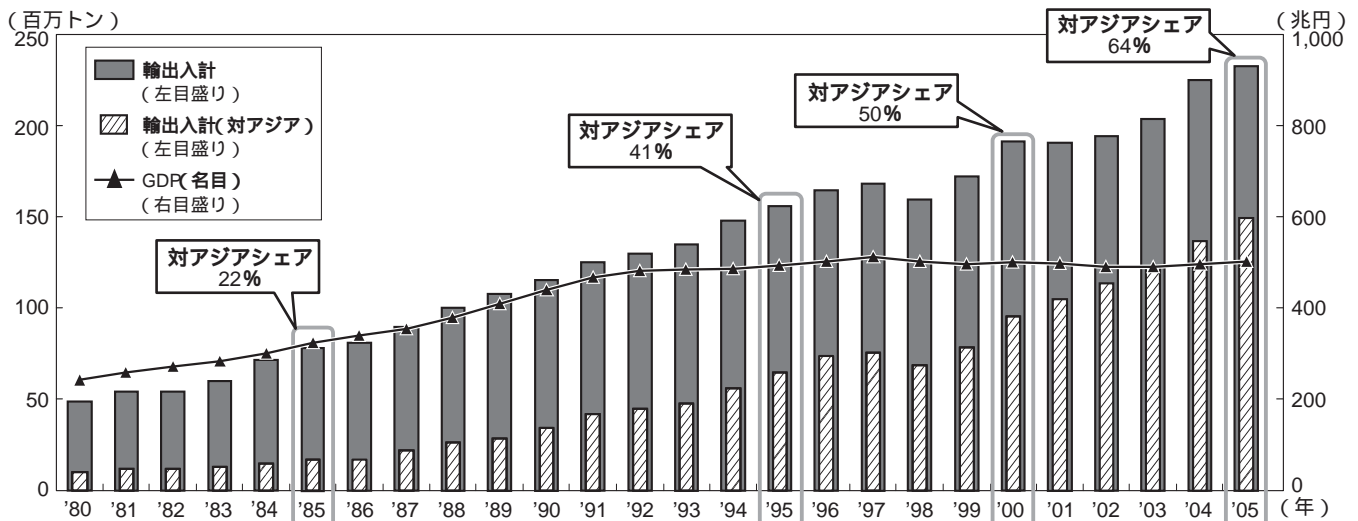
食料自給率



資料：平成17年度食料需給表(農林水産省)

## 対アジアを中心とする我が国のコンテナ輸出入貨物量の増加

GDPが伸び悩む近年においても、我が国のコンテナ輸出入貨物量は堅調な伸びを示している。なかでも、対アジア諸国のコンテナ取扱貨物量は大きく増大。



	輸出入計	対アジア輸出入計	GDP(名目)
'00 '05の5年間	1.21倍 (年平均伸び率3.97%)	1.57倍 (年平均伸び率9.45%)	1.00倍 (年平均伸び率0.06%)
'95 '05の10年間	1.49倍 (年平均伸び率4.07%)	2.31倍 (年平均伸び率8.75%)	1.02倍 (年平均伸び率0.18%)
'85 '05の20年間	2.99倍 (年平均伸び率5.92%)	8.85倍 (年平均伸び率11.52%)	1.55倍 (年平均伸び率2.23%)

出典：内閣府経済社会総合研究所  
(GDP)  
コンテナ輸出入貨物量  
(国土交通省港湾局)

## 2 国民生活の安全・安心の向上

港湾は、国民生活や産業活動を支える重要な物流・生産基盤であり、また、背後には多くの人口・資産が集積しているため、高潮・津波等の災害から、人命・財産を直接防護する港湾海岸施設の役割は非常に重要である。

また、平成7年に発生した阪神・淡路大震災においては、内陸の交通手段が被害を受けたため、緊急物資等の輸送において海上輸送が重要な役割を担った。

各地で大規模地震の発生が切迫するなか、地域の防災力の向上と災害に強い海上輸送ネットワークの構築を図るため、大規模地震発生時に港湾・海岸に求められる防災機能を強化する施策の推進が必要である。

### 背後地が大都市やみなとまち

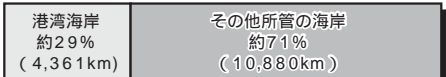


東京港海岸（東京都）



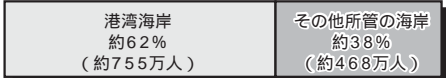
呉港海岸（広島県）

防護が必要な海岸延長（15,241km）



資料：海岸統計（平成18年度版）より作成（値はH18.3時点）

防護すべき人口（1,223万人）



資料：地方ブロックの社会資本の重点整備方針より作成（値はH15.11時点）

港湾海岸の背景には多くの人口が集中している。

### 物流・産業機能が高密度に集積



大阪港海岸（大阪府）



千葉港海岸（千葉県）

全国の面積に占める港湾所在市区町村の割合（約38万km<sup>2</sup>）



資料：全国都道府県市区町村別面積調より作成（値はH17.10.1現在）

全国の工業出荷額に占める港湾所在市区町村の割合（約269兆円）



資料：工業統計表（市区町村編）より作成（値はH15暦年値）

港湾所在市区町村の整理は平成18年4月1日現在

港湾が所在する市区町村の工業出荷額は大きい。

### 【集積する人命・財産を守る港湾海岸】

#### 臨海部防災拠点のイメージ

災害時には、緊急物資の海上からの大量の搬入が可能で、搬入した物資の保管場所及び支援部隊のベースキャンプとしての用地の確保が可能であることから、臨海部の防災拠点として港湾の役割は重要である。

#### 臨海部防災拠点のイメージ



#### 平成19年新潟県中越沖地震の事例 柏崎港



### 【災害に強い海上輸送ネットワーク】